

親族6名で親牛40頭の飼養と飼料用米・主食用米25ヘクタールを栽培

大隅町岩川で肉用牛の生産を行っている加塩正子さん。加塩さん夫婦・夫の両親・夫の弟夫婦の6名で、親牛40頭を飼養しています。

■就農した経緯は？

実家は末吉町で牛と豚の畜産農家でした。末吉高校から鹿児島県立農業大学校に進学し、卒業後は実家の畜産をしていました。牛と豚は身近な存在で、子どもの頃から畜産のお手伝いしかしていなかったため、将来も畜産しかないと考えていました。同じく牛の畜産農家をしていた夫との結婚を機に、本格的に就農しました。

■仕事内容は？

牛に与える飼料や牧草ロールの管理・糞尿処理など飼養管理全般と事務のすべてを行っています。それに加えて飼料用米・主食用米を合わせて25ヘクタール生産しています。

そのため6月の田植えと11月の収穫時期はとても忙しいです。日没後にライトをつけて収穫作業することもあります。作付面積が広い分、牧草ロールはすべて自分で作ったものを与えています。

■心がけていることは？

牛のことをよく見るようにしています。病気・発情・分娩のタイミングなどをよく観察して、早期発見できるように心がけています。いつでも牛の様子を見るために牛舎のすぐそばに家を建て、家の窓から牛が見れるつくりにしました。家の中にもふと気になったときにすぐ見て、牛の状態を確認できます。私たち夫婦と夫の弟が牛の人工授精師の資格を持っているので、牛の変化に気づいたときはすぐに対応できます。

■今後の目標は？

現在の親牛40頭から70頭に増頭したいと思っています。そのため年に5頭ずつ増頭しています。牛舎も新しく建てたいです。

輝く！ヤングワーカー

肉用牛生産農家
就農16年目

かしおしょうこ

加塩正子さん



6月のある日の
スケジュール

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
行動	睡眠				起床	朝食など		子どもの送迎	えさやり・掃除	作業の打ち合わせ	田植え		昼食	田植え		えさやり		子どもの送迎	陸上のコーチ	夕食・入浴など					睡眠